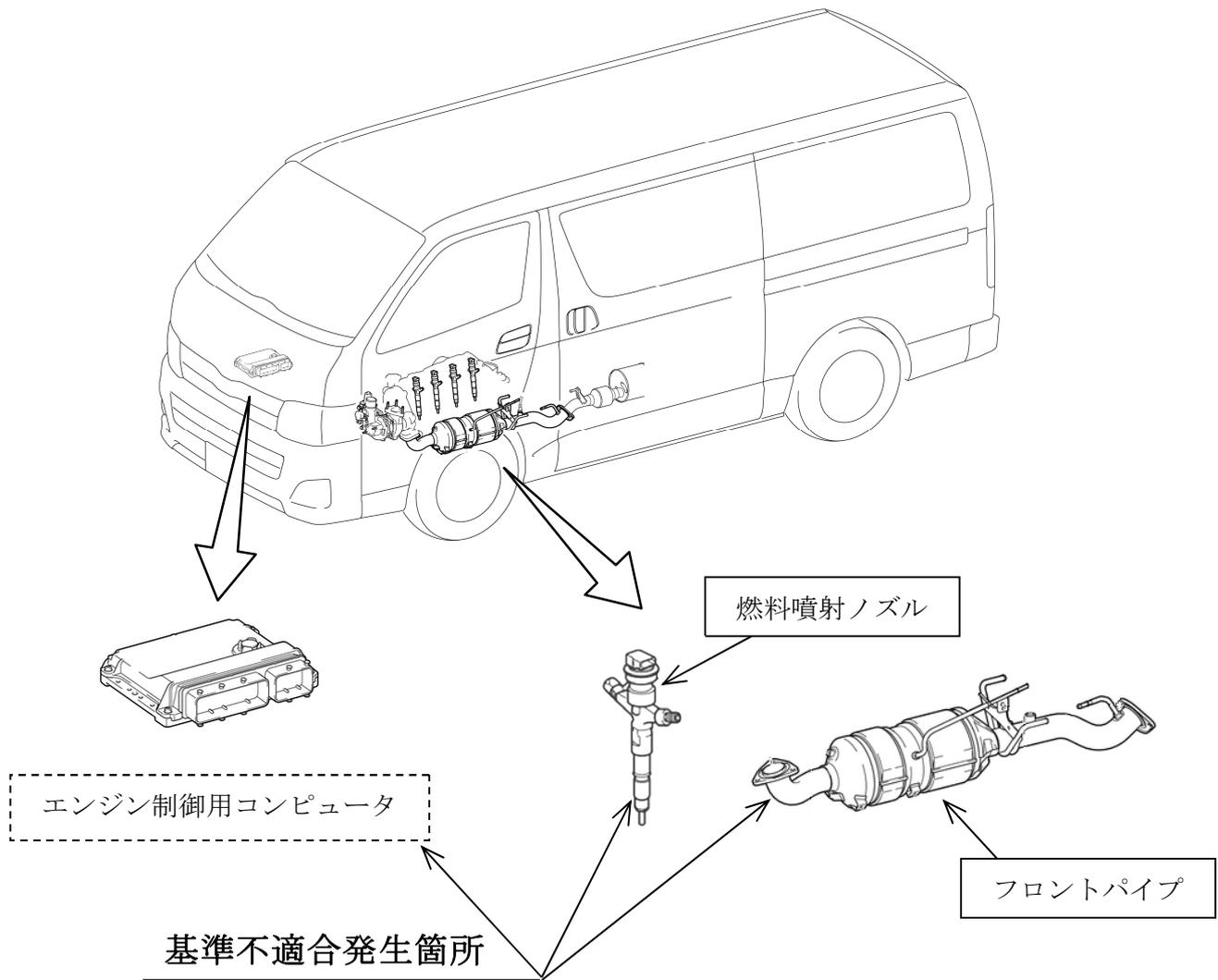


改善箇所説明図 ②



注： は交換部品を、
 は修正部品を示す。

エンジン制御用コンピュータにおいて、排気ガス再循環制御が不適切なため、排気ガス中の水分により燃料噴射ノズル先端孔部が腐食し拡大することがある。そのため、噴射量が増えてPMが触媒に多量に堆積してエンジン警告灯が点灯し、出力制限走行となる。最悪の場合、触媒が損傷し黒煙を排出するおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御用コンピュータのプログラムを対策仕様に修正する。
また、プログラム修正後にエンジン警告灯が点灯する場合には、無償で噴射ノズル等を交換するとともに、触媒が損傷している場合には、フロントパイプを交換する。

識別：改善済車両には車台番号打刻の番号左上部に黄色ペイントを塗布する。